

# 1200万署名・NPT代表派遣 News

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03-5842-6031 FAX：03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年3月31日 No.39 NPT開幕まであと33日

## 核兵器全面禁止の協議開始を

オバマ米大統領とメドベージェフ露大統領は26日、電話会談を行い、第1次戦略兵器削減条約（START1）に代わる新条約に合意しました。両国の戦略核兵器の上限をそれぞれ1550発、ミサイルや爆撃機などの運搬手段の総計を800基・機とする今回の合意は、核軍縮努力の表れとして歓迎すべきことです。

同時に、核兵器のない世界を実現するためには、核兵器の禁止・廃絶そのものを目標として交渉し、拘束力ある合意を達成しなければなりません。

5月3日から始まるNPT再検討会議で問われるものは、なによりも「核兵器のない世界を追求」することを約束した米口の行動であり、「自国の核兵器の廃絶」を「明確な約束」として受け入れた核保有国の努力です

核保有国にたいして核兵器全面禁止の協議を開始する具体的なイニシアチブを強く求め、日本政府に対しても唯一の被爆国の道義的役割として、核兵器の全面禁止を大胆に提起するようあわせて求めましょう。

### NPT ニューヨーク行動要請代表団結団式と署名行動 愛知



折り鶴を貼った横断幕でアピールする愛高教の参加者 生さん、副団長に梅野敏基さん・水野磯子さん・高橋信さん・土井敏彦さん・大村義則さんがそれぞれ提案され、確認。代表して、遠藤団長（愛友会事務局長）が「たくさんの命を一瞬で奪う核兵器は存在すること自体が許されない。自分自身の被爆体験を世界の人たちに広く伝え核兵器をなくすよう訴えていきたい」と決意を述べました。

「代表団アピール」を採択し、水野磯子副団長のあいさつで閉会しました。

翌28日午後には、NPT再検討会議・ニューヨーク行動の参加者が一緒に名古屋市内で署名宣伝行動を行いました。若い世代や親子連れの反応がとてもよかったです。澤田昭二さんが対話した外国の方には英語で署名内容を解説し、署名に応じてくれる経験も生まれました。うたごえ、愛高教、平和委員会、春日井地域、岡崎地域、愛友会、名南会、南医療生協、県事務局など16人で行動し、85筆の署名と2000円の募金が寄せられました。

「署名を持って、2010年ニューヨークに行こう・愛知」は3月27日、愛知芸術文化センターアートスペースAで代表団結団式を行いました。

情勢報告に立った澤田昭二さん（県原水協理事長）が「米国を初めとした核保有国と日本が核抑止力論から抜け出し、核兵器を廃絶するための国際条約をつくる出

発点にしたい」と話しました。団

長に遠藤泰

松本事務局長は、「地域署名もひろがっています。NPT再検討会議への45名の代表も決まりました。何としても目標をやりと、被爆地ヒロシマの声を託したい」と決意を語りました。

広島県原水協は、2005年NPT再検討会議に提出した13万余に約2万筆と迫り、一気に2005年実績を超え、目標の20万を必ず達成しようという行動を計画しています。

30日には「2010年再検討会議の成功をめざす広島実行委員会」の事務局会議が開かれ、4月の毎日曜日の11時から正午まで、原爆ドーム協の元安橋で行動することを決め、参加をよびかけています。

毎日曜日に宣伝計画し一気に達成へ 広島



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>  
携帯電話からもアクセスできます。